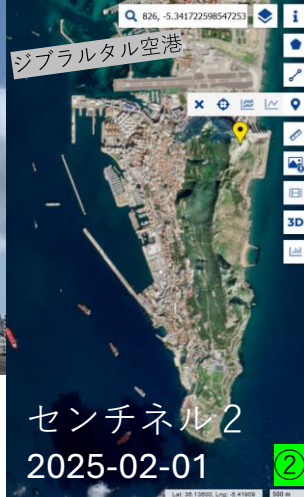


2025年2月2日

YACかわら版 542

ジブラルタルの雲



2月1日ツイッター「X」に興味深い動画が投稿されていました。標高426mジブラルタルの岩山から雲が流れ落ちる様子がみえます。①

地元では「レバンター」という名前です。東から北東のあたりの風「レバント風」に因んでいます。ジブラルタル海峡を通して流れ込みます。衛星データではどのように見えるのか、コペルニクスブラウザを開いてみました。ジブラルタルの岩山周辺には雲が確認できません。②②-2

あわせて、ズームアースで風の様子を調べてみました。終日強い西風です。③

①の動画はいつ撮影されたか不明でした。ジブラルタルの「レバンダー」雲は有名なようです。探してしましたら、撮影日が特定できる画像がありました。⑤

<https://www.livescience.com/levanter-cloud-gibraltar> ⑦

同日のセンチネル2観測データとズームアースの風データです。④⑤

①④の動画は、ジブラルタル気象局が撮影したものです。

⑦の記事には、「レバンダー」発生仕組みを次のように説明しています。

英国気象庁によると、この奇妙な雲は「バンナー雲」と呼ばれ、地形雲の一種で、その下にある**地形の形状によって形成される**。バンナー雲は、強風が丘や山に湿気を多く含んだ空気を吹き付け、空気を山頂に向かって押し上げることで発生する。空気が山頂に達すると冷やされ、水蒸気が雲に凝縮し、山頂付近に静止したまま漂うか、風に吹き飛ばされる。

ジブラルタルの岩山は、スペイン南部沖のジブラルタル海峡を西に吹き抜ける東風の突風であるレバントと呼ばれる風が定期的に吹くため、「**バンナー雲**」の発生に適しています。そのため、地元の人々はこの雲の形を「レバンター」と呼んでいます。以下略

*「バンナー」は旗のことです。「バンナー雲」のことを「山上旗雲」と呼ぶこともあります。

ジブラルタルは、人口約3万人の小さなイギリス海外領土です。2つの大陸の間のジブラルタル海峡に面しています。交通の要所です。

かつてYACかわら版253「ジブラルタル海峡の大波」で、海峡東の大波を紹介していますが、2月1日のセンチネル2観測データ②にも大波のようなものがみえます。

空気の流れと海水の流れについても不思議がいっぱいですね。

